

特集：フレキシブルなIT

エンタープライズハイブリッド クラウド戦略の鍵

エグゼクティブサマリー

今日、企業はかつてないほど数多くの不確定要素に直面しています。エンタープライズITに対する需要の加速に伴い、企業は柔軟で迅速な技術でその戦略を変化させ、顧客を最適に支援するという挑戦を突き付けられています。現代のIT企業はオンプレミスやハイブリッドといった様々な種類のインフラストラクチャを活用し、このような需要を満たす必要があります。オンプレミスとパブリッククラウドを戦略的に融合することができる企業は、よりオープンで柔軟性があり、俊敏性の高いIT環境を通じて、顧客にサービスを提供するのに最適な位置にあります。

2020年1月にIBMは、組織がITインフラストラクチャ戦略を開発および実装する方法を評価するために、同社が2019年9月にForrester Consultingに委託した調査を公開しました。Forresterは業界全体で350人のグローバル企業のIT意思決定者にオンライン調査を実施して、このテーマについて調査しました。企業は、さまざまな種類のパブリッククラウド、ホステッドプライベートクラウド、およびオンプレミスインフラストラクチャを使用してハイブリッドクラウド環境を構築していることがわかりました。

需要が複雑化し、増大する時代では、IT企業は自社のITインフラストラクチャ戦略にオープンかつ柔軟な姿勢を求めるようになる。

企業のインフラストラクチャ戦略を最新化することで、今日と明日の変化に目を向けて適応させていく

- アプリケーションのプラットフォーム戦略を多様化させることにコミットする
- インフラストラクチャへの継続投資を視野に入れて検討する
- オンプレミスインフラストラクチャを軸にハイブリッドクラウド戦略を強化する

アプリケーションのプラットフォーム戦略を多様化させることにコミットする

オープン性と柔軟性によって得られる対価は、パブリッククラウドやオンプレミスインフラストラクチャなど、さまざまなアプリケーションへの投資を全面的に増やすことで、今日および将来へのニーズを満たすときに初めて得られます。

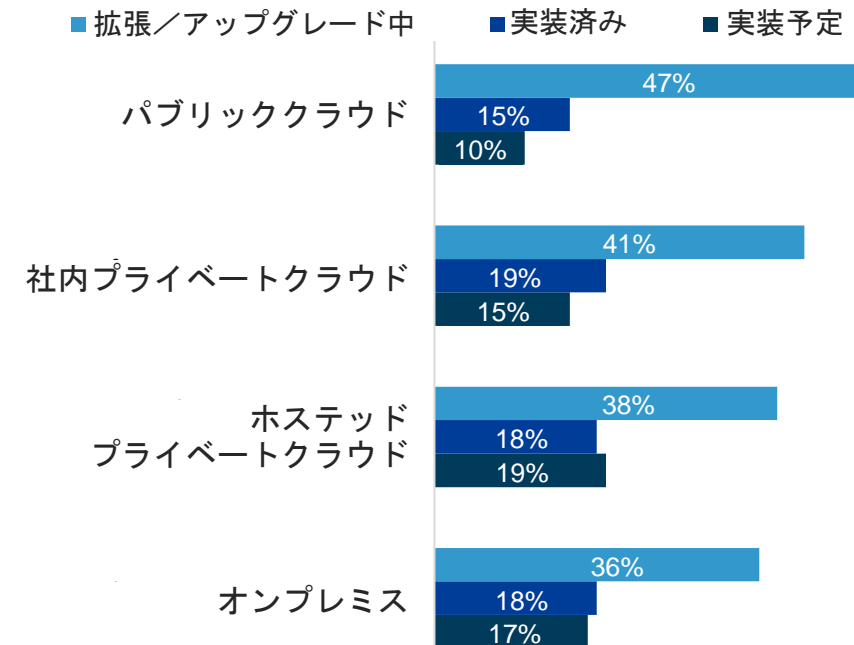
今後の2年間で予想される投資

83%
非パブリック
クラウドへの
投資増加



82%
パブリック
クラウドへの
投資増加

「今後12ヶ月における貴社の導入計画を最もよく表しているものは以下の中で何ですか？」



インフラストラクチャへの継続投資も視野に入れて検討する

既存のプラットフォームへの再投資の失敗により、企業はビジネス価値を喪失しやすくなります。

刷新を二の次にすると互換性の制約、パフォーマンスの低下、および競争力に影響が生じる可能性があります。これらは全て、意思決定者にとって最大の懸念事項である。

互換性の制約

43%は課題としてアプリ、ソフト、サービス、統合に関する互換性の制約をあげました。

顧客の需要を満たすことができない

43%は課題として増加する顧客のニーズに対応することができないことをあげました。

市場競争力の低下

39%の回答者は刷新の遅延後、競争優位性がなくなったと感じています。

パフォーマンス低下

38%の回答者は、刷新が遅れたことによって企業の業績が低下したと述べています。

オンプレミスインフラストラクチャを軸にハイブリッドクラウド戦略を強化する

ほとんどの企業は柔軟なインフラストラクチャ戦略、すなわち、オンプレミスインフラストラクチャを軸にクラウド戦略を融合することに対して前向きな姿勢を保っています。



9/10

の人が、オンプレミスインフラが自社のハイブリッドクラウド戦略の中核部分となることに同意しています。



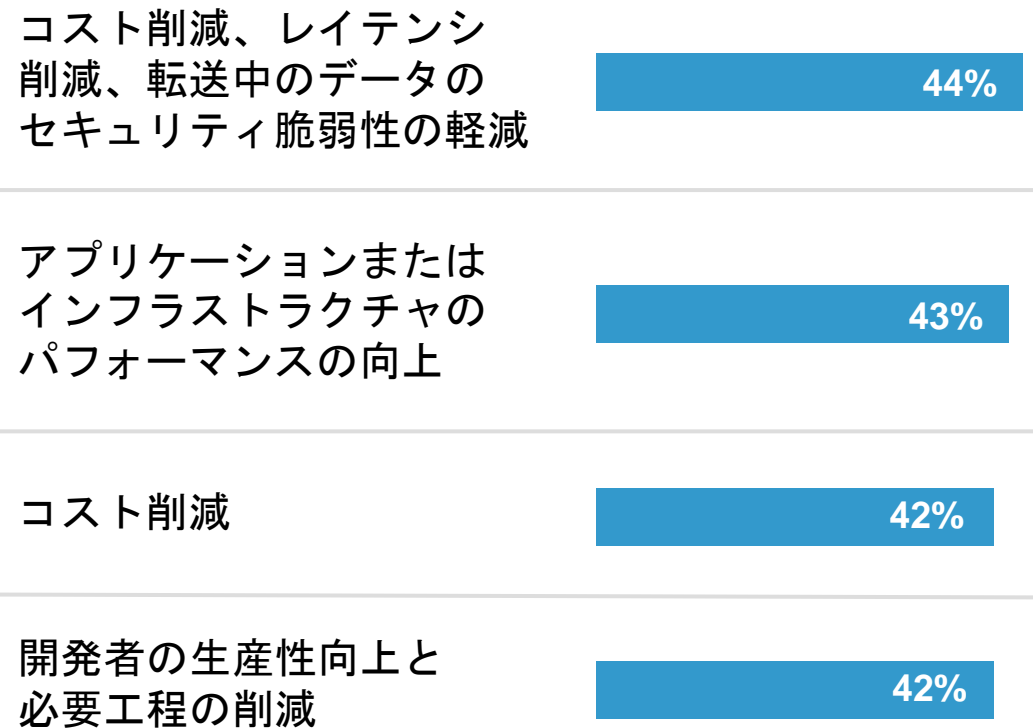
37%

の人が、ITインフラストラクチャ管理と柔軟性の向上はハイブリッドクラウド活用の利点であると考えています。*

より良い価値を提供するため、企業ではオンプレミスの利用に対し柔軟な姿勢を保持している

組織は、パブリッククラウドに加えてオンプレミスのリソースを活用して柔軟性を高め、物事を迅速に進め、脆弱性を軽減し、パフォーマンスを向上させています。

オンプレミスのリソースを活用する理由トップ5



主な推奨点



アプリケーションのプラットフォーム戦略を多様化させることにコミットする。

企業は、オンプレミス、ハイブリッドクラウド、マルチクラウドなど広範なインフラストラクチャプラットフォームに投資を続けています。



インフラストラクチャへの継続投資を視野に入れて検討する。

ビジネス損失をもたらす脆弱性を最小限に抑えることができるオンプレミスに再投資しながら、この広範なインフラストラクチャ戦略の検討を進める必要があります。



オンプレミスインフラストラクチャを軸にハイブリッドクラウド戦略を強化する。

パブリッククラウドは多くの種類のワークロードに対応しますが、全てが最適であるとは限りません。より良い価値を提供するため、データ集約型アプリケーション、オンプレミスなど、ワークロードタイプを追加することも常に視野に入れておきます。



レポート全編をダウンロードする

調査手法

この調査では、ForresterはITインフラ環境におけるグローバル意思決定者350人にオンライン調査を行い、企業が如何にインフラ戦略を開発し、実行しているかを評価しました。調査参加者には、インフラと運用、アプリケーション管理または保守、ソフトウェア開発におけるIT意思決定者が含まれました。参加者には、様々なワークロードで利用される環境およびインフラへの投資についての質問に回答をいただきました。回答者には、調査への協力に対する謝礼が贈られています。この調査は2019年8月に開始され、2019年9月に終了しました。

Forrester Consultingについて

Forrester Consultingは企業リーダーがその組織を成功に導けるよう、独立し客観的なリサーチベースのコンサルティングを提供しています。短期の戦略セッションからカスタムメイドのプロジェクトまで、Forrester Consultingのサービスは、クライアント固有の事業課題に専門知識と経験を適用するリサーチアナリストからクライアントに直接提供されています。詳細については、forrester.com/consultingをご覧ください。© 2020, Forrester Research, Inc. All rights reserved. 本書を無断で複製することは固く禁じられています。本書の内容は、最適な情報源に基づいています。ここに記した見解はその時点でのものであり、最新の情報とは異なる場合があります。Forrester®、Technographics®、TechRankings、Forrester Wave、RoleView、TechRadar、Total Economic Impact、およびCXのロゴはForrester Research, Inc. の商標です。その他の商標の所有権は各社に帰属します。詳細については、forrester.comをご覧ください。[E-45084]

プロジェクト・ディレクター：
Cynthia Hicks、
マーケットインパクトコンサルタント

研究協力者：
ForresterのCIOリサーチグループ